



緑 響 く

2007年3月29日(木)▷2007年5月29日(火)

休館日 毎週水曜日

日本列島は南北に長い地形と湿潤な気候を持つ。このため日本の風景は極めて多彩な面がある。大陸の乾燥した空気の中で見る鮮明さとは違い、柔らかみのある色感と、きめこまやかな自然。美術を見ても、大和絵の優雅と水墨画の枯淡があり、等伯、宗達、光琳のように、一人の画家で彩色画と墨絵との両面に優れた作品を残した例も少なくない。

東山すみ「自然と色彩(魁夷ノートより)」『東山魁夷青の世界』2006年)

No.	作品名	制作年	分類	取材地
本制作ほか				
1	みどりひび 緑 響く	1972	習作	長野県 茅野市 蓼科高原
2	みどりひび 緑 響く	1982	本制作	長野県 茅野市 蓼科高原
3	ぬま せいじやく 沼の静寂	1970	スケッチ	
4	ぬま せいじやく 沼の静寂	1983	本制作	オーストリア インスブルック
5	ぬま 沼	1993	本制作	長野県 戸隠
6	せいえい 静映	1982	本制作	長野県 希望湖
7	みどり まど 緑 の窓	1983	本制作	ドイツ ラムサウ
初期スケッチ				
8	らいめい 黎明		スケッチ	ドイツ バイエルン地方
9	ほうしゅん 訪春(甲州にて)		スケッチ	山梨県
10	うみへ 海辺にて(伊豆)		スケッチ	静岡県 伊豆
北欧風景				
11	ノルウェーの春	1962	スケッチ	ノルウェー ウルヴィック
12	森のささやき	1962	スケッチ	デンマーク フレデンスボー
13	フレデリク城を望む	1962	スケッチ	デンマーク ヒレロード
14	さざなみ	1962		フィンランド プンカハルユ
15	ヴィラットの運河	1962		フィンランド ヴィラット
16	夏の道	1962		フィンランド ヴィラット
連作“京洛四季”				
17	とうふくじ にわ 東福寺の庭	1964~ 1966	スケッチ	京都府 東福寺
18	門	1964~ 1966	スケッチ	京都府 常照皇寺
19	かつら しきいし 桂の敷石	1964~ 1966	スケッチ	京都府 桂離宮
20	さんげんいんろじ 三玄院露地	1964~ 1966	スケッチ	京都府 大徳寺

21	しゅんせい 春 静	1964~ 1966	習作	京都府 鷹ヶ峰
22	あけほの 曙	1964~ 1966	習作	京都府 比叡山
23	はなあか 花明り	1964~ 1966		京都府 円山公園
24	ゆ はる 行く春	1964~ 1966		京都府 祇王寺
25	なつ 夏に入る	1964~ 1966		京都府 大山崎町
26	とし 年経る樹	1964~ 1966		京都府 青蓮院
27	ゆき あと 雪の後	1964~ 1966		京都府 中川付近

ドイツ・オーストリアの旅

28	ゆ 揺れる窓	1969	スケッチ	ドイツ リュウベック
29	はな 花のある窓	1969	スケッチ	ドイツ ミッヘルシュタット
30	まつ ひ 祭りの日	1969	スケッチ	ドイツ フライブルク
31	の はな 野の花	1969	スケッチ	ドイツ オーバー・ゼー
32	えが 描かれた壁	1969	スケッチ	オーストリア ロイテ
33	ミラベル 宮廷園	1969	スケッチ	オーストリア ザルツブルク
34	ごご まど 午後の窓	1969	スケッチ	オーストリア オーベルンドルフ
35	いざかや 居酒屋	1969	スケッチ	オーストリア デュルンシュタイン
36	さかば 酒場のしるし	1969	スケッチ	オーストリア クレームス
37	みどり その 緑 の園	1969	スケッチ	

連作「古都を描く」

38	緑のハイデルベルク	1969	習作	ドイツ ハイデルベルク
39	青きドナウ	1969	習作	オーストリア メルク

連作“白馬の見える風景”

40	ゆうあか 夕明り	1972	習作	長野県 下諏訪町 八島湿原
41	みずうみ す 湖 澄む	1972	習作	ドイツ オーバー・ゼー

大和春秋				
42	吉野の春	1973～1985	スケッチ	奈良県 吉野
43	霧の朝	1973～1985	スケッチ	奈良県 春日大社
44	飛火野	1973～1985	スケッチ	奈良県 飛火野
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の山・海				
45	煙雨	1973	スケッチ	
46	流れる霧	1973	スケッチ	
47	緑 峽	1973	スケッチ	
48	緑 の 溪	1973	スケッチ	
49	深山の樹	1973	スケッチ	
50	山雲 1/5中下図	1973	1/5 中下図	
51	山雲 試作1～4	1974	試作	
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 中国の風景				
52	北京新緑	1976	スケッチ	中国 北京市
53	農村所見	1976	スケッチ	中国
色紙・デザイン				
54	金太郎		色紙	



八ヶ岳山麓にて

55	舞鶴草小風呂敷原画	1975	カット・その他	
下図ほか				
56	青響 大下図	1960	大下図	福島県 福島市 土湯峠
57	緑岡 小下図	1962	小下図	静岡県 南伊豆 石廊崎
58	緑岡 大下図	1962	大下図	静岡県 南伊豆 石廊崎
59	月篋 A	1966	スケッチ	京都府 嵯峨野
60	月篋 B	1966	スケッチ	京都府 嵯峨野
61	月篋 スケッチ D	1966	スケッチ	京都府 嵯峨野
62	月篋 スケッチ E	1966	スケッチ	京都府 嵯峨野
63	月篋 スケッチ C	1966	スケッチ	京都府 嵯峨野
64	月篋 大下図	1966	大下図	京都府 嵯峨野
65	月篋	1964～1966	習作	京都府 嵯峨野
ピエゾグラフによる代表作				
66	黄山雨過		ピエゾグラフ	中国 黄山
67	夕静寂		ピエゾグラフ	長野一岐阜県 奥穂高
68	白馬の森		ピエゾグラフ	山梨県 富士山五 合目のブナ原生林

(展示作品は都合により変更となる場合があります)



デンマーク ベレモーゼンでのスケッチ

東山魁夷 (ひがしやま かいい) 略歴

明治41 (1908) 年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8 (1933) 年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22 (1947) 年特選受賞。31 (1956) 年日本芸術院賞受賞。40 (1965) 年日本芸術院会員となる。44 (1969) 年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11 (1999) 年5月6日逝去。享年90歳。

東山魁夷館

東山魁夷は東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、長野県を「私の作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2 (1990) 年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等、500余点が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました。

作品の分類について

「本制作」は、主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」は、東山魁夷自身による分類で、「スケッチ」が实景の写生であるのに対し、「習作」は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。